

かみたに

京都市会議員

神谷修平

瓦版



京都市のお金の使い方に納得がいけない!!

というお声を市民の方々から多くいただきます。私もかねてから京都市の税金の使い方に対し指摘を行って参りました。引き続きしっかりと皆様の声を受け止め、議会で厳しく指摘して参ります。



議場で厳しく指摘!

門川市長の退職金、総額2億円!?

門川市長は、すでに5回の退職金を受け取られており、その総額は約**1億3000万円**にもなります。

市長の退職金は任期ごと、つまり1期4年ごとに退職金が出ます。市長は現在4期目であり、市長としての退職金を計4回受け取る予定です。しかし、門川市長は市長の退職金以外にも、すでに退職金を3度(教育次長1回、教育長2回)受け取っています。市長としての退職金は2期目分まで受け取られているので、教育長の時の2回分と教育次長の時の退職金を合わせると、約1億3000万円になります!

さらにまだ受け取られていない3期目と4期目の市長の退職金を受け取ることとなれば、なんと合計7回、総額2億円近くもの退職金を受け取ることとなるのです!(右の図をご参照ください。)

役職	退職金の額	受取
①教育次長	約3,800万円 <small>(当時の局長級の退職金から推察)</small>	済
②教育長(1期目)	約1,096万円	済
③教育長(2期目)	約712万円	済
④市長(1期目)	約4,069万円	済
⑤市長(2期目)	約3,536万円	済
ここまで受取り済、計5回 合計約1億3000万円		
⑥市長(3期目)	約3,402万円	予定
⑦市長(4期目)	約3,402万円 <small>(現段階での予測値)</small>	予定
ここまで受取ると、計7回 合計約2億円		

◆門川市長の退職金受取り状況◆

京都市長の退職金は、実は政令指定都市トップ3に入るのです!

政令指定都市 市長の退職金ランキング
(令和2年度データ)

① 広島	4,087万円	(※令和元年度)
② 横浜	3,438万円	
③ 京都	3,402万円	
④ 仙台	3,395万円	
⑤ 千葉	3,307万円	
⑥ 川崎	3,110万円	
⑦ 岡山	3,062万円	
⑧ 福岡	2,995万円	
⑨ 熊本	2,913万円	
⑩ 埼玉	2,904万円	
⑪ 札幌	2,887万円	
⑫ 新潟	2,856万円	
⑬ 堺	2,856万円	
⑭ 北九州	2,656万円	
⑮ 神戸	2,517万円	
⑯ 静岡市	2,400万円	(※令和元年度)
⑰ 相模原	2,192万円	
⑱ 浜松	2,000万円	

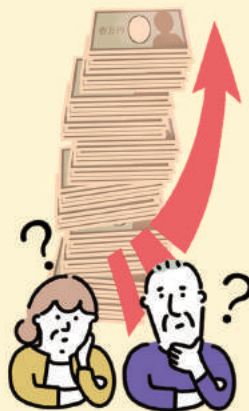
(万円以下切り捨て)

○名古屋 0円(※市長が受取りを辞退)
○大阪 0円(※退職金制度を廃止)

議会で厳しく追及しましたが、門川市長本人からの答弁はなく、監察官から「一般的な制度であり、問題はない」といった回答のみでした。

市長の退職金は地方自治法、及び本市条例に基づいた一般的な制度ではありますが、これほど巨額の退職金を受け取れることを市民の方々は本当に納得されるでしょうか。市民の方々に負担を強いる中で、その街のトップが多額の退職金を受け取るというのは、市民感覚から言えば見過ごせるものではありません。

門川市長には、市民に負担を強いる前に、自ら覚悟を示し、改革に臨んでいただきたいことを議会で強く指摘いたしました。





市民目線で指摘！

京都市職員の ボーナスアップに反対!!



11月市会で、京都市職員のボーナスアップの議案が審議され、他の会派が賛成する中、反対の態度を表明しました。

財政危機を受けて行ってきた職員給与のカットは、当初3年間の予定でしたが1年間前倒して2年間で終了すると昨年変更されました。今回、これを当初予定の来年度まで延長することと引き換えに、職員のボーナスをアップすることとなったのです。公務員の給与やボーナスは、人事委員会勧告という制度に基づいています。公務員給与・ボーナスは、景気の動向やインフレ・デフレなどの経済状況を反映させる仕組みがないことから、民間企業の給与・ボーナスの変動を踏まえて上げ下げを決めるという制度です。ただし、人事委員会勧告を受けても実際にボーナスアップをするかは、それぞれの自治体に権限があります。

京都市の財政状況などを踏まえれば、今回は見送るという判断はできたはずですが、京都市は、現在でも他の政令市と比較しても100億円規模で人件費が高い状況にあり、京都市の赤字の大きな原因となっています。

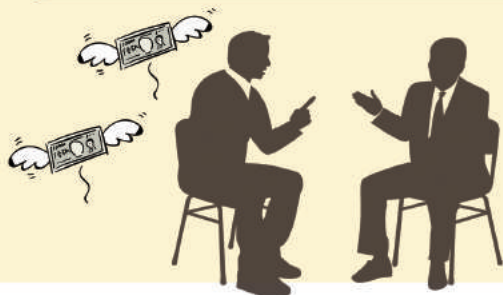
また、敬老乗車証の値上げや各公共施設の利用料の値上げ、保育園への補助金の減額、学童保育の値上げなど、今まさに市民の皆様にご負担をお願いしているさなかに、ご理解が得られるとは思えません。

京都市は財政の健全化を何としても達成し、市民生活の向上を第一に目指すべきだと考えます。



無駄遣いを指摘！

本当に必要!? 門川市長の対談企画に1350万円の予算



『京都のこれから発信局』という門川市長の市政をPRする対談企画が毎年実施されています。こちらの予算は約『1350万円』。有名人との対談もあり安いと見るか高いと見るかは人それぞれかもしれませんが、今の時代、無料や安価な発信方法は様々あります。工夫の余地はありますし、そもそも財政難で市民サービスがカットされる中、これほどの予算を使って有名人と対談する必要があるでしょうか？委員会で厳しく指摘いたしました。

議員が率先して身を切るべき！

京都市はお金の使い方を改めるべき！

私は選挙公約として

議員給与の3割カット

議員定数の1割削減

を掲げました。議員は安全な立場から発言するのではなく、しっかりと自らが身を切り、京都市民の方々の為に改革を進めていかなければなりません。

今の京都市のお金の使い方は、市民の感覚とはかけ離れています。税金の無駄遣いをやめ、しっかりと改革を行い、納得感のある税金の使い方に変えていかなければなりません。今後とも厳しくお金の使い方をチェックし、福祉の充実、子育て支援拡充など市民生活の向上につながるよう努めて参ります！

地域活動

様々な活動や行事に参加させていただけます！



消防団活動



地域行事に参加

神谷修平プロフィール

- 1986年11月19日生まれ 関西学院大学卒業
- 文化財保存修復師として約10年間
国宝・重要文化財の絵画の修理に携わる。
- バスケットボール部に中学から高校まで、6年間所属
- 家族は妻と子供2人です。



発行：神谷修平事務所

〒600-8385 京都市下京区五坊大宮町77 ヒゴエグゼクティブビル1F TEL. 075-406-0473 FAX. 075-406-0474 kamitani2019@gmail.com